



	特徴	メリット
インプット	航空写真(直下型、斜め型)および陸上写真	有人・無人を問わず、あらゆるアングルから撮影した画像を処理。
	あらゆるカメラ(コンパクト、一眼レフ、マルチスペクトル、GoPro)を .jpg または .tiff で提供)	小型から大型フレーム、一般用から特殊カメラまで、あらゆるカメラで撮影した画像を使用可能。
	同じプロジェクトで複数のカメラをサポート	異なるカメラの画像を用いてプロジェクトを作成し、それらをまとめて処理することが可能。
特徴	タイムライン	同じプロジェクトに属するすべてのデータセットの表示と保存。
	オーバーレイツール	設計図とオルソモザイクを重ね合わせ、施工時と設計時の比較により、エラーを発見や進捗を確認することが可能。
	2D/3D比較ツール	2Dおよび3D表示で、分割またはダブルスクリーンで異なる日を並べて比較する
	自動GCP	地上基準点(GCP) ターゲットの自動マーキングにより、プロジェクトの絶対精度を向上。
	テンプレート選択	必要なアウトプットに応じて異なる処理テンプレートを使用し、処理とアウトプットを最適化。
	出力座標系選択	最適なワークフローを保証するために、選択した座標系でプロジェクトを処理。
	距離と面積の測定	正確なプランニングのために距離や面積を測定。アノテーションとして測定値を保存することもできる。
	体積測定	より正確な敷地調査のための、DSMに基づいた体積測定。
	体積比較	DSMに基づく体積の経時変化の比較
	標高プロファイル	DSMに基づいて標高プロファイルを生成。各ポイントの標高情報が表示される。
	アノテーション	さまざまなタイプのアノテーション(マーカー、点検、線、範囲、円、多角形)を追加することで、より価値の高い実用的な情報を共有。アノテーションは、.csv、.GeoJSON、Shapefiles などのさまざまなファイル形式でエクスポート可能。
	バーチャルインスペクター	3Dモデルやその作成に使用された画像上でのバーチャル検査。特定の画像をズームインし、ピン留めして、詳細情報やアクションを画像にコメントすることも可能。検査結果はアノテーションとして保存。
	マルチスペクトル処理とNDVI表示	マルチスペクトルデータセットをより高度に分析するためのNDVI マップを自動生成。デフォルトでインデックスの柱状グラフを表示。
	共有	注釈、測定値、標高プロファイル、ボリューム、プロジェクトをチームや関係者と共有することで、コラボレーションやレポートを向上。
	既存の結果をインポート	オルソモザイクとDSMは .geotiff、点群データは .las と .laz、3Dメッシュは .objファイル形式でインポート可能。
BIMモデルをインポート	IFCファイル形式のインポートと3Dでのビジュアライゼーション	
注釈レポート	全てのアノテーション(測定値、ポイント、ボリューム、検査)を含むPDFレポートを作成し、簡単に共有および文書が可能。レポートの言語は、ソフトウェアで使用されている言語のどれかが使用される	
出力	2D出力結果	GeoTiff 出力形式での直下型オルソモザイク。 .geojson、.csv、.shp 出力形式での 2D ベクトル。
	2.5D出力結果	GeoTiff 出力形式での DSM または DEM。
	3D出力結果	.las出力形式での3D点群。 .fbxおよび.obj出力形式での3Dテクスチャメッシュ。
	PDF出力結果:	.pdf形式のGCPLレポート
		.pdf形式の品質レポート
		PDF形式のアノテーションレポート
サードパーティインテグレーション	Trimble Connect	Trimble Connectプラットフォームに選択したファイルをエクスポート
サポート	個人メール	ライセンス所有者は、メールでサポートに連絡することが可能。
	コミュニティ	誰でも書き込み可能なコミュニティ。
マルチリンガル	対応言語写真	英語、スペイン語、イタリア語、日本語、韓国語、フランス語、ポルトガル語(ブラジル)、タイ語、ドイツ語